



由布市立庄内中学校 学校通信

かきはる

第17号 2024/2/20 発行

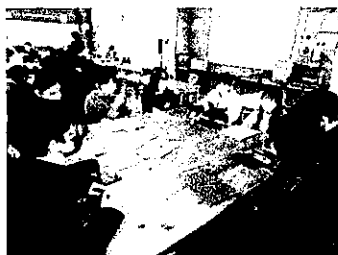
文責 校長 東克彦

小中交流会 2月6日

2月6日火曜日午後、来年度入学予定の小学校6年生を中学校に招いて「小中交流会」を実施しました。1年生国語の授業参観の後、2年生が企画した「中学校生活の説明」と「グループでの交流」を行いました。

「中学校生活の説明」では、中学校の生活のきまりや委員会活動、部活動、行事などを、クイズを交えながらプレゼンテーションで紹介し、「グループでの交流」では、あらかじめ6年生にとっていたアンケートをもとに、6年生からの質問に中学生が答えていきました。その後、グループごとにすごろくトークなどのゲームをしましたが、次第に緊張が和らぎ、笑い声が大きくなっていきました。

2年生のみなさんは、小中交流会に向け3学期に入ってから準備を進めてきました。1か月後には最上級生となる皆さんの、今後の活躍やチームワークをこれから楽しみにしたいと思います。お疲れさまでした。

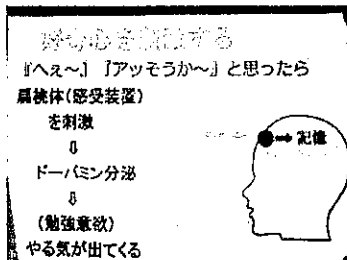


こころの健康づくり講座 2月9日

2月9日(金)午後、心理士の野口拓哉さん、健康増進課の二宮知花さんをお招きして、1・2年生対象の「こころの健康づくり講座」を開催しました。この中で、自分の気持ちの持ち方の傾向を考え、ストレス症状が出た時の症状や対処法を考えていきました。

ユーモアを交え、非常に分かりやすい説明で、自分に合った心の持ち方やストレスを溜めずに解消するためにいくつかの対処法を持つことの大切さを学びました。

何かとストレスを感じやすいといわれる現代ですが、学んだことをうまく活用してストレスに対処していきましょう。



ストレス症状が軽減するように自分にあった方法をいろいろと探しましょう！！

例えば・・・

- ・運動や体操を定期的に行う
- ・趣味の時間を満喫する
- ・五感を刺激する(アロマや食事)
- ・親しい関係に愚痴を言う

人権教育出前授業 2月9日

2月9日(金)、大分人権啓発講師団の池辺小枝子さんをお招きして、3年生を対象に「なぜ、『差別』って存在するのだろう!？」のタイトルで出前授業をしていただきました。社会で学習した歴史と「部落」との関わりや、池辺さん御自身の教職時代の経験を語っていただいた後、「差別はいけないこと、と誰もが知っているのに、なぜ差別は存在するのだろうか？」という問いに対して、クラスに分かれて意見交流していきました。「差別する」の対義語「〇〇する」を考える活動では、「尊敬する、尊重する」「理解する」「信頼する」という意見が出されました。本年度作った校訓の中にある「信頼」が出されたことをうれしく感じました。中学を卒業していく3年生は、これからも「信頼する」「信頼される」ことを大切にしていってほしいと思っています。

